



株式会社黄金の村 (徳島県那賀郡那賀町)

木頭ゆず果汁
(加工品)

・タイ
・フランス
・アメリカ

木頭ゆずのストーリーと認証取得で販路拡大に取り組む

取り組み内容

- 西日本で2番目に高い剣山の南麓に位置し、自然豊かな木頭地区。木頭ゆずは、全国のゆずの苗にもなった歴史を持ち、昭和52年に果樹としては初めて「朝日農業賞」を受賞、名実ともに日本一のゆずとなった。その木頭ゆずの産地としてゆずの生産・加工・輸出を行い、木頭ゆずの歴史をストーリーとして届け、海外ファンを惹き付けています。
- 2017年、地域で協力し、農林水産省地理的表示保護制度の認定(GIマーク・登録42号)を申請し、木頭ゆずが認定されました。
- 高温予措(高温貯蔵)と低温貯蔵を組み合わせ、長期貯蔵技術を確立。2022年HACCP(JFS-B規格)取得、2024年コーチヤ認証取得。



◀フレッシュな香りと酸味を届けるため、収穫後、24時間以内に手絞り▼



▲用途に応じて梱包・輸送方法を丁寧に選択



▲コンテナに積み込み出荷



▲GI認証 (H29)



株式会社カミチク (鹿児島県鹿児島市)

和牛肉

・台湾
・タイ
・香港
・ベトナム
・EU 他

各国への最適なアプローチによりニーズの変化に対応

取り組み内容

- 牛の飼料の生産から、肥育、製造・加工、小売・外食までを一貫して事業化し、**グループ全体で6次産業化(Farm to Table)モデルを構築。**
- **6次産業化により、生産にかかるコストを管理し、生産農家の経営を安定させ**、牛の価格も安定的に供給できるため、安全・安心で良質な牛肉を生産者・消費者共に納得のいく価格で届けている。
- (株)カミチクの売上は約212億円、うち約26億円(約12%)が輸出事業の売上。
- 2010年のタイ・マカオへの輸出を皮切りに、**現在では12か国へ輸出、香港とベトナムでは現地法人も有し、ベトナムでは飲食店を運営**し、さらに牛の肥育も行っている。



飼料用稲作を農家に委託▲
し、TMR発酵飼料を用いた
独自の飼料で、ストレスフリー
の環境で牛を肥育



▲シンガポールのマリーナベイサンズ
KOMAレストランでのイベント

ベトナムで、現地パートナー企業の営業担当者向けの講習を開催し、スキルアップを図る▼





垂水市漁業協同組合 (鹿児島県垂水市)

養殖カンパチ

・アメリカ
・香港
・カナダ
・シンガポール 他

世界最大規模で生産される養殖カンパチを海外へ

取り組み内容

- 昭和40年代にブリの養殖事業を始めたが、平成元年の台風で壊滅的な被害にあったことを転換点として、新たな設備投資を必要とせず、**ブリよりも販売単価が高いカンパチの養殖事業を開始**した。
- 年間に約110万尾の天然種苗、約25万尾の人工種苗を仕入れる、世界最大級の養殖生産規模**である。
- 給餌量や給餌回数を調整し、**出荷サイズと時期をコントロールし周年出荷を実現**している。
- 水揚げから加工、包装、梱包、出荷まで、**一貫生産体制を構築し、生鮮品としての海外輸出を可能にした**。



▲桜島の下錦江湾に浮かぶ養殖生け簀



▼漁協内で加工処理された「海の桜勘」(カンパチ)



▲新規市場開拓では
捌き方講座や試食会を開催

2025
農林水産
大臣賞

ヤマロク醤油株式会社 (香川県小豆郡小豆島町)

醤油
(木桶仕込み)

・アメリカ
・ドイツ
・台湾 他

SNSを活用し「木桶仕込み醤油」を毎日世界の消費者へ発信

取り組み内容

- 創業は約150年前。醤油を絞る前の「もろみ」の卸販売を行っており、醤油屋としては昭和24年から営業開始。**「木桶仕込み」という伝統的な製法で“プレミアム醤油”として、海外へ発信**している。
- 安心安全の品質を守るために、ISO22000認証、米国FDA登録などのレベルの高い食品衛生管理を得ているほか、ヴィーガンおよびコーチャの食生活を鑑み、世界中の多くの方に、安心して使っていただけるよう取り組んでいる。
- **SNSを活用し、毎日英語で木桶仕込み醤油のことを知っていただく投稿を行っている。**その**成果として、フォロワー数は6万5,000人を超え、その内、9割が外国人**である。

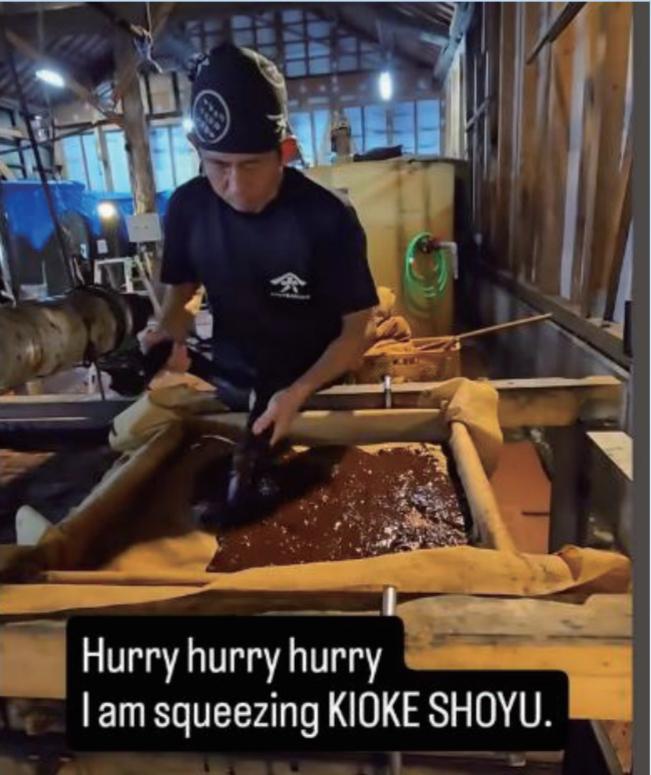


▲木桶に生きる
酵母菌や
乳酸菌

▲150年前から使用する木桶



▲各国の取り扱い店が分かるQRコード



Hurry hurry hurry
I am squeezing KIOKE SHOYU.

▲SNSを積極活用

